

PROJECT 3

ジュニアアート教室  
〜人・まち・アートプロジェクト〜



アートの魅力を伝える

常葉大菊川高校美術・デザイン科の生徒たちは、NPO法人アートコラールきくがわと連携し、市内小中学生を対象とした「きくがわジュニアアート教室」の開催に取り組みました。全4回の教室の中で、写真、陶芸、アクションペインティングの講座には、司会進行や子どもたちの指導役として参画。最後の4回目には、自分たちが企画・講師を務め、子どもたちに絵を描くことの楽しさを伝える、オリジナル絵本作りを行いました。

経験から新たな提案

教室終了後、参加した小中学生や保護者にアンケートを実施すると、「すごく楽しかった」「もう一度参加したい」などの意見が多く聞かれました。教室を企画・運営する経験や調査結果から、「アートには人を明るくする力や楽しませる力がある」ことを

学んだ生徒たち。プレゼンテーション大会では、市内にある壁に絵を描くウォールペイントや夜間のイベント会場を照らす灯笼作りなど、アートの力で地域を明るく、元気にする提案をしました。



左の写真は、ジュニアアート教室の写真教室で一枚です。テーマに沿って撮った写真をこのようなフォトパネルにしました。



陶芸教室では、いろいろなものを作るのイメージを描きながら、制作に取り組みました。



トートバッグに絵の具を飛ばして作品を制作するアクションペインティングや絵本作り(右写真)にも挑戦しました。



SUPPORTER VOICE



常葉大菊川高校 下川 裕靖先生

発表の段階に至るまでは、私たちも不安が多かったです。進路選択という意味では、良いきっかけづくりになったと思います。このような体験を自分の糧にしてほしいです。今後も地域や子どもとふれあう貴重な機会なので、事業を活用していきたいと思っています。

STUDENT VOICE



常葉大菊川高校2年生 井口 ほたるさん (島田市)

とても緊張したけど、みんなに支えられて、上手く発表できました。この活動をとおして、アートには人を明るくする力があることや主体性をもって動かないといけないということを学びました。発表したような美術に触れる機会が増えてくれればうれしいです。

菊川の元気は若者から



企画政策課 勝浦 敬豊課長

参加した皆さんは、企画を創り上げる大変さなど、多くの気づきや学びを得たのではないかと思います。今回の発表に終わることなく、自分の可能性を広げる良い機会としていただけたらと思います。菊川市ではこの事業だけでなく、小中学生が、主体的に地域づくりへ参加するなどの取り組みが実施されています。これらの事業に共通することは、市内の企業や団体、農業者など多くの地域住民が関わっていることです。若者が、多くの地域住民と触れ合い、さまざまな地域の魅力を見つけ、自ら地域の魅力を創り上げることで、地域への愛着がより深まっていきます。また、若者と一緒に活動することで地域の人たちも刺激を受け、元気になっていくと思います。地域全体で若者を育てる活動が、菊川の元気につながっていくのではないのでしょうか。